

かんのひるたか

流山市 菅野

福祉従事者 ホームヘルパー



無所属 最年少
流山市議会議員 34才

既得権益と闘う!

無所属の市議会議員として

ごあいさつ

旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。

本年も地域の声、社会的弱者(子ども・高齢者・障がい者)の声を市政に届けていけるよう努力し頑張つてまいりますので、引き続きご指導ご鞭撻の程宜しくお願ひ致します。無所属議員として5月までの任期をしっかりと全うさせて頂きます。

これからの時期は、流山市平成27年度予算編成の大事な時期になります。地域の声をしっかりと行政に届けられますよう、皆さまの声を聞かせ下さい。私は政治家の家庭に生まれたわけでもなく、普通のサラリーマン家庭に生まれ、数年前までは福祉従事者の一人としてサラリーマンをしておりました。政治の世界では名も無い一本の「雑草」です。

市議会議員の端くれではございますが、既得権益を打破し「汗をかいて頑張っている人が結果を出し報われるよう」と奮闘しておりますが、正常な状態に戻そうと頑張ると、既得権益で利益を得ている方々からの嫌がらせなどによる抵抗勢力が増しますが、私は屈せず闘い続けま

流山市議会議員

かんのひるたか



3つの基本理念

政治姿勢

皆さまからお預かりした大事な税金は家計同様に**市政もやりくり**が必要で「あれやれこれやれ」やらないのは市が悪い」と要望ばかり主張する議員が多い気がします。税金をかける提案でどこかを削らなければなりません。

私は税金の「ムダ」を無くす提案・指摘をし、費用を捻出した上で提案や提言をさせて頂いていただきます。

今さえ良ければの市政から、将来に責任を持つ市政へ!

100センチの視点

「100センチの視点」で考え、実行いたします。

「100センチの視線は、子どもの視線の高さです。そして、車いすや杖をご利用されている「高齢者や、障がい者の視線の高さでもあります。」

「100センチの視点」とは子どもや高齢者、障がい(児)者など「社会的に援助を必要としている方々」の視点に立ち、物事を考え実行・提唱してまいります。

既得権益と闘う!

「市民はお客様、市役所はサービス業」です。

全国的に問題視されている行政の縦割り・しがらみ体制。そこに、積極的にメスを入れ、公正公平に市政運営が行われるよう、指摘改善を求めます。

将来を担う子どもたちにツケを残さないためにも。



巡視船に同乗し、警視總監・消防總監、そして海上自衛隊関係者より当時の被災現場においての状況説明を頂き意見交換させて頂きました。



市政報告会は市内各地で「年3回」実施し、各地域の声や社会的弱者の声(子ども・高齢者・障がい者)などの声を膝を交えて真剣に伺ってきました。(いざき市長をお招きして。)



福島県や宮城県の災害ボランティアには議会の合間や休日に通算100日何回かで頂いています。身体を使い「いつ起こるか分からない災害」に備えて対策や現場の声を市政に反映させて頂いております。



教育は日本の「ものづくり」や「おもてなし」を支える礎です。流山市内の小中学校や保育園、幼稚園の運動会に伺い、保護者や教職員とも意見交換をさせて頂きました。